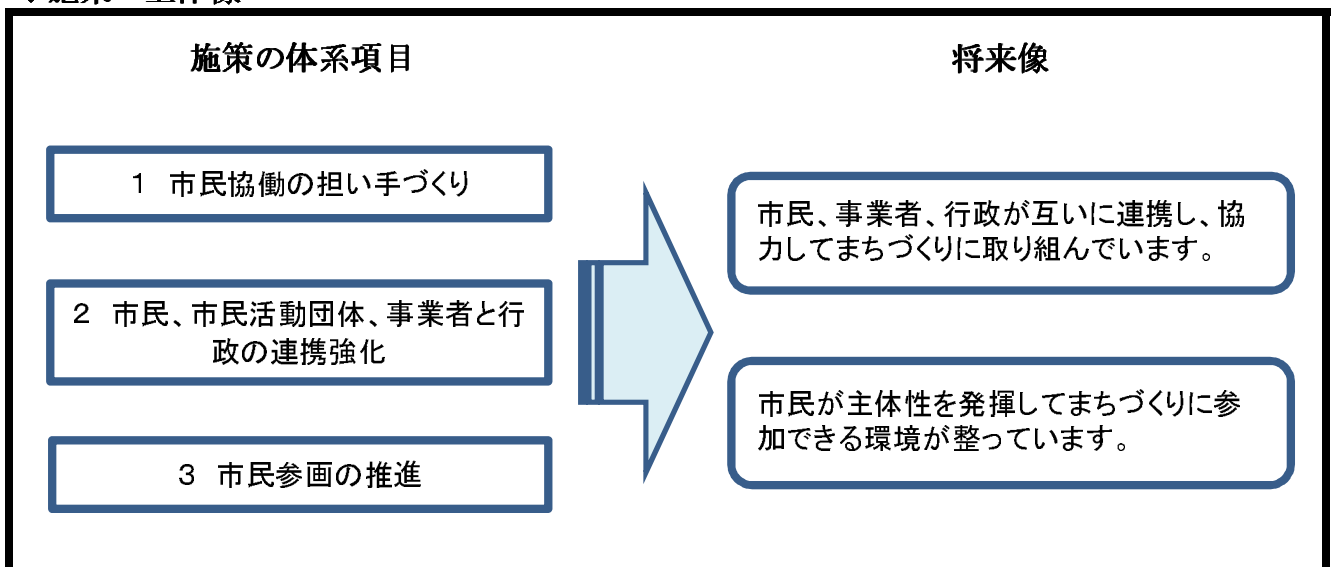


施策評価シート (平成30年度評価実施)	担当 部課名	企画部 協働まちづくり課	関連 部課名	
--------------------------------	-------------------	-----------------	-------------------	--

◆第四次蒲郡市総合計画(2011～2020)

施策名	市民協働
基本目標	市民とともに歩むまちづくり【協働・行財政運営】
施策の説明	市民、市民活動団体、事業者、行政が互いに協力してまちづくりに取り組むことができるように、各主体の連携強化に努めるとともに、市民活動に必要な情報や場所の提供、担い手となる人材の発掘・育成、市民活動団体の運営支援などの取組を推進します。

◆施策の全体像



◆主要事業に係る具体化した取組み実績(括弧内は単位)

事業名		市民まちづくりセンター運営委託事業																					
がまごおり市民まちづくりセンター(利用人数)(人)		がまごおり協働まちづくり会議(回)																					
<table border="1"> <caption>がまごおり市民まちづくりセンター(利用人数)(人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>6,121</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6,105</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5,965</td> </tr> <tr> <td>H30年度目標</td> <td>6,100</td> </tr> </tbody> </table>		年度	利用人数(人)	H27	6,121	H28	6,105	H29	5,965	H30年度目標	6,100	<table border="1"> <caption>がまごおり協働まちづくり会議(回)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回数(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H30年度目標</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		年度	回数(回)	H27	6	H28	5	H29	5	H30年度目標	6
年度	利用人数(人)																						
H27	6,121																						
H28	6,105																						
H29	5,965																						
H30年度目標	6,100																						
年度	回数(回)																						
H27	6																						
H28	5																						
H29	5																						
H30年度目標	6																						
担当者評価																							
<p>がまごおり市民まちづくりセンターは、助成金事業実施団体のサポートをおこなっており、公益的事業の担い手となる市民団体の育成に寄与しています。団体は順調に育成されており、多くの活動団体がまちづくりに取り組んでいます。助成金を受けたのちに自主事業に移行する手助けを行い、自立して活発に活動している団体もあります。</p> <p>また、がまごおりのまちづくりを推進するために設けられたがまごおり協働まちづくり会議では、センターから委員及び事務局として参加し、蒲郡市の行動推進に寄与しています。</p>																							
事業名		協働基金運用管理事業																					
基金取崩額(千円)		市民企画公募まちづくり事業助成金(団体)																					
<table border="1"> <caption>基金取崩額(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>取崩額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>2,498</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,290</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,978</td> </tr> <tr> <td>H30年度目標</td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table>		年度	取崩額(千円)	H27	2,498	H28	2,290	H29	1,978	H30年度目標	2,000	<table border="1"> <caption>市民企画公募まちづくり事業助成金(団体)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>助成金(団体)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H30年度目標</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		年度	助成金(団体)	H27	7	H28	6	H29	5	H30年度目標	6
年度	取崩額(千円)																						
H27	2,498																						
H28	2,290																						
H29	1,978																						
H30年度目標	2,000																						
年度	助成金(団体)																						
H27	7																						
H28	6																						
H29	5																						
H30年度目標	6																						
担当者評価																							
<p>応募団体数が減少しつつあります。市民団体への助成をし尽くした感がある状況であり、まちづくりに情熱のある団体の発掘に努めるとともに、新たな担い手を育成したり、既存の団体の基盤を強化する時期に入ってきていると感じます。</p>																							

1

2

◆施策の現状分析(指標の推移から見た現状分析)

指標の推移		指標の説明(設定理由)										
1	<p>まちづくりセンターへの登録件数 (団体)</p> <table border="1"> <caption>まちづくりセンターへの登録件数(団体)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>H32年度目標</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table>	年度	登録件数	H27	120	H28	124	H29	126	H32年度目標	130	<p>市民協働の推進は、まちづくりセンターを中心に、場所や環境を構築することとなっており、その環境整備を行うセンターへの登録件数は、将来の協働の担い手となる団体の件数であると考えられます。</p>
年度	登録件数											
H27	120											
H28	124											
H29	126											
H32年度目標	130											
	<p>指標の分析</p> <p>件数が増加することは、新たにまちづくり事業を実施する団体が掘り起こされていると考えられますが、その一方で、登録したままで事業を実施していない団体もありうるため、精査整理する必要もあると感じています。</p>											
2	<p>がまごおり市民まちづくりセンター (相談件数)(件)</p> <table border="1"> <caption>がまごおり市民まちづくりセンター(相談件数)(件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>1,234</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,257</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,248</td> </tr> <tr> <td>H32年度目標</td> <td>1,260</td> </tr> </tbody> </table>	年度	相談件数	H27	1,234	H28	1,257	H29	1,248	H32年度目標	1,260	<p>まちづくり事業助成金応募には、がまごおり市民まちづくりセンターへの相談が必須となっており、市民協働の担い手づくりと事業者や行政との連携を強化するための、プラットフォーム的役割を担っています。</p> <p>相談件数の推移は、まちづくりの進捗度合いを測るひとつの総合指標といえます。</p>
年度	相談件数											
H27	1,234											
H28	1,257											
H29	1,248											
H32年度目標	1,260											
	<p>指標の分析</p> <p>まちづくりに関する事業について関心はあるが、どうしてよいかわからない団体(個人)について、相談を受けています。件数が減少しているということは、新たな団体(人材)が生まれていないということであり、助成金事業への応募件数も減少する傾向にあります。</p>											

◆市民等からの参考意見等

市民サービス向上に向けた意見等
<p>市民団体向けに、助成金事業についてのアンケートを実施しました。助成金を受けて事業を行った団体の大半は、事業を継続していますが、人材不足、団体の高齢化などに悩んでいることが感じられました。</p>

◆今後の方針

No.	課題		今後の取組み
	件名	内容	
1	職員向けの協働に関する実践例の研修および意識の啓発	事業担当課で協働事業が実施できるよう、実践例を学ぶ機会を作る。	職員向け協働研修会を継続的に実施する。 協働事業について、市民・事業者などと、行政とをつなぐような仕組みを構築する。
2	人材育成連続講座を実施する。	市民団体の抱える問題を解決すべく、新たな担い手の発掘や、まちづくりに興味を持つ市民の育成に力を入れる。	多様な主体が必要とする講座を実施し、まちづくりに興味を持つようなきっかけを作る。
3			
4			

◆施策評価

構成事業の進捗状況	A:目標達成に向けて計画どおり進行している。
施策の進め方	B:一部見直しが必要である。
課長評価	<p>まちづくりセンターのサポートにより、助成金を活用した公益的事業の担い手となる市民団体育成について努力されているものの、新たな応募団体を掘り起こすために、助成金制度をより魅力あるものに変革させていくといった仕掛けが必要です。助成金利用団体が「助成金がもらえなくなったから」という理由で活動を中止することのないように、他からの資金調達のできる力を育成していくことも課題となりますし、助成期間中から自立的運用ができるような力をつけもらうために、根本的な制度変更を検討する必要があります。</p> <p>また、行政職員だけでなく市民も含めた“協働”の目指す姿を共に学習し、課題や問題意識の共有を図りながら、対等な立場で問題解決の契機を作り出せるよう、研修等を通して行政職員一人ひとりの“協働”に対する意識改革や知識の向上に努めるとともに、併せて実現可能な事業から事業担当課で積極的に“協働”を取り入れた事業を展開していくことが必要です。昨年度より開始した研修を継続することで、市役所の中において協働スタイルがスタンダードになるように努力をしてください。</p>

施策の進捗状況	B:目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
部長評価	<p>平成29年度から開始した市職員向け協働研修会を引き続き実施して、市民協働により施策を実現させることが必要である。また市民団体育成に関しては、まちづくりサポートセンターが中心となり、団体育成を行っているが、助成金終了後に自立できるように育成方法の検討も必要である。</p>

事務事業一覧

総合 計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費(参考) (千円)	人工	評価 (担当者)	事業の 種別	新規 事業	達成 状況	市長マ フェスト	実施 計画
6-1	協働まちづくり課	1	まちづくり事業	18,104	9,685	1.20	B	カ	オ	B	3	○